



令和4年10月7日
京都市立松尾中学校
校長 林 秀雄
保健室 川島 幸恵

～保護者の方もお覧ください。学校HPにも掲載しています～

視力検査の結果より

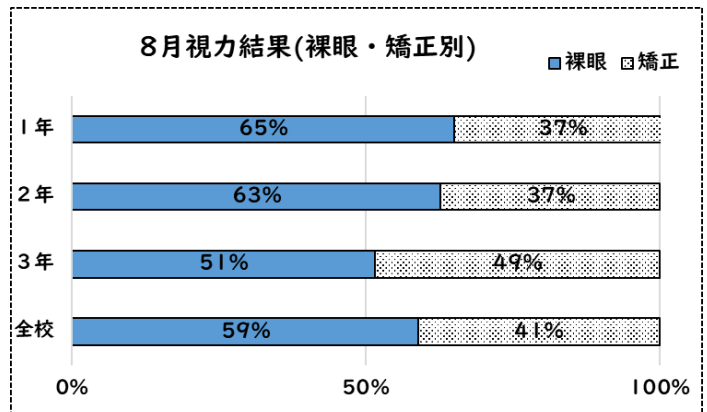
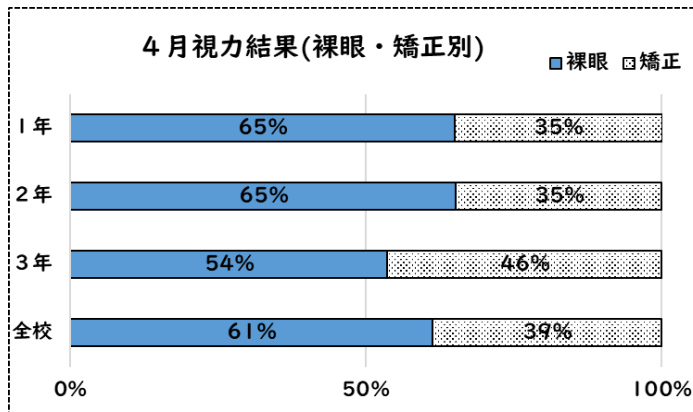
10月10日は目の愛護デーです。

松尾中学校の4月・8月（夏休み明け）の視力検査の結果を裸眼・矯正（メガネやコンタクト）別に見てみましょう。

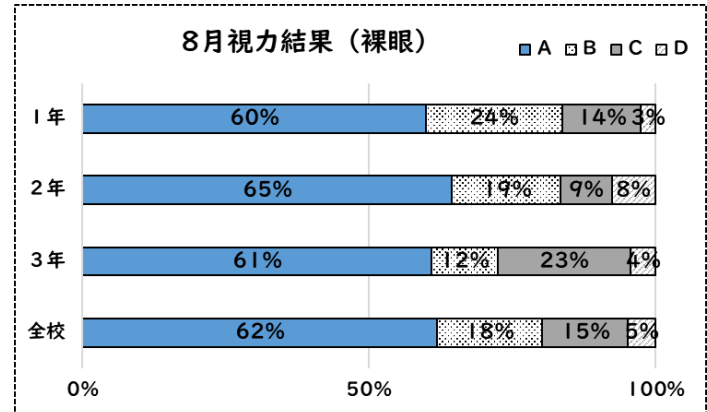
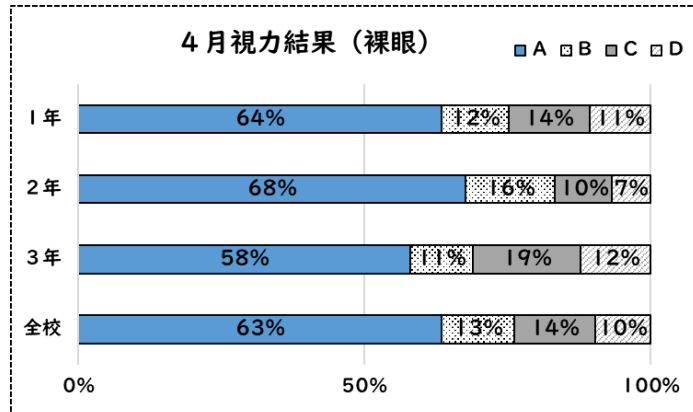
10月10日は



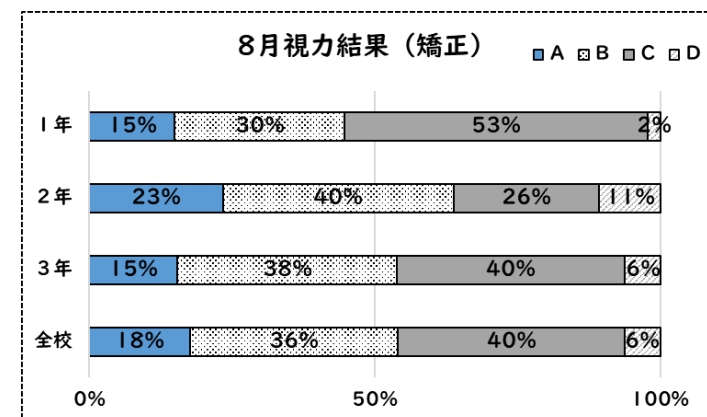
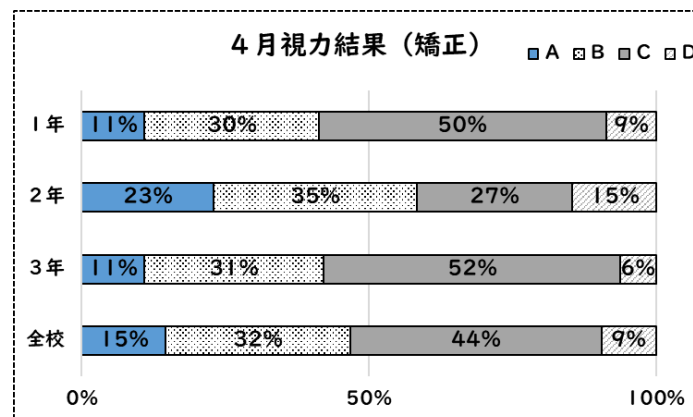
① 裸眼・矯正別



② 裸眼結果



③ 矯正結果



視力低下を予防しよう！



▼令和3年度の学校保健統計調査より（令和4年7月13日毎日新聞より引用）

- ・文部科学省より、令和3年度学校保健統計調査を発表された。（R4/7/13）
裸眼視力が1.0未満（B・C・D）の中学生は60・28%で過去最多。近年の結果から大きな改善はなく、子どもの視力低下が深刻な状況が浮かんだ。
- ・文部科学省は視力低下について「スマートフォンなどの利用で、目に近い距離での作業が増えたことが影響した」と説明した。授業でのデジタル端末活用も広がっており、「目から30センチ以上離す」などの注意を促している。

▼本校の裸眼・矯正別結果より

- ・令和3年4月の裸眼率が67%から、令和4年4月は61%に下がっています。
令和3年8月の裸眼率も62%から、令和4年8月は59%に下がっています。
- ・4月から夏休み明けにかけて、裸眼から矯正に変更した人が増えています。
- ・学年が上がるごとに矯正使用率が上がっていることが分かります。

▼本校の裸眼結果より

- ・4月は全学年で裸眼Aの生徒は58%～68%。8月は60%～65%でした。
上記の学校保健統計調査の結果、全国平均の結果を上回る結果とはなりましたが、日頃の過ごし方で視力低下が進行する可能性があります。今一度、ノートを書く時の姿勢・本やタブレットと目の距離など、意識して過ごすように心がけましょう。

近視を予防するために…日本眼科医会より紹介

今や、全国の児童生徒の多くがデジタル端末を日常的に利活用しています。その一方で、コロナ渦での外出自粛や、デジタル端末にふれやすい「おうち時間」の増加がみられ、近視の発症や進行が懸念されています。以下の動画【進む近視をなんとかしよう大作戦の巻】では、「近視マン」がダークヒーローとして登場し、近視化を進めて学校を支配するというストーリーです。近視の進み方、近視の人に起きやすい目の病気等、アニメで分かりやすく説明されています。（3分55秒）

近視マンの悪だくみを抑える3つの作戦とは・・・？！

